

～ 十勝岳の状況について ～

噴火警戒レベル「1」

62-2火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多く、熱活動が活発な状態が続いています。今後の火山活動の推移には注意が必要です。

◇ 噴煙^{※1}などの表面現象の状況

- ・ 62-2火口の噴煙の高さ 火口縁上200m以下（前月300m以下）
- ・ 大正火口の噴気の高さ 100m以下（前月200m以下）
- ・ 振子沢噴気孔群の噴気の高さ 稜線上100m以下（前月200m以下）

◇ 地震活動等の状況

- ・ 火山性地震 ～ 21回（前月14回）
- ・ 火山性微動 ～ 0回（前月0回）

◇ 地殻変動の状況

- ・ 62-2火口周辺及び山麓の傾斜計では、今期間は特段の傾斜変動は観測されませんでした。

- ※ 十勝岳における噴火警戒レベル「2」への引上げは
- ・ 噴火が発生し、火口から概ね1.5km以内に大きな噴石が飛散
 - ・ 噴火が発生し、噴煙の高さが火口縁上1,000m程度を観測
 - ・ 火口直下で火山性地震が150回/24時間を超える
 - ・ 火口直下で山体浅部の膨張を示す地殻変動を観測
 - ・ 最大振幅1 μ m以上かつ10分以上継続する火山性微動を観測などから複合的に判断されます。



～ 大雪山の状況について ～

噴火警戒レベル「1」

～火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません～

◇ 噴煙などの表面現象の状況

旭岳地獄谷爆裂火口の噴気の高さ 火口上100m以下（前月200m以下）

◇ 地震活動等の状況

- ・ 火山性地震 ～ 23回（前月25回）
- ・ 火山性微動 ～ 0回（前月0回）

- ◆ 火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態

※1 噴煙とは、火山活動によって火口から上昇する煙状または雲状の火山噴出物、火山ガス及び周辺の大気が混合したものの、噴気とは火山ガスのことです。

※2 火山性微動とは、地下のマグマや火山ガス、熱水などの移動や振動が原因と考えられており、火山活動が活発化したときに多く観測されます。

◇ 本資料は、札幌管区気象台地域火山監視・警報センターが発表する資料に基づき作成しています。詳細は気象庁公式ホームページをご覧ください。